

愛知県 瀬戸市



誰もが1日そこで楽しめる “居心地の良い図書館” プロジェクト

瀬戸市の紹介

- 1000年以上の歴史を持つ“せともの”のまち
- 平成29年に日本六古窯の一つとして日本遺産に認定
- 毎年9月には全国から多くの人々が訪れる「せともの祭」を開催
- 藤井聡太竜王・名人の出身地
- ジブリパーク、愛知万博20周年、国際芸術祭「あいち2025」等
(隣接の長久手市)



プロジェクトの背景・課題

- 瀬戸市立図書館は、昭和45年に竣工・開館し、開館54年を迎える
- 陶芸の街に絵画という新たな息吹をもたらし、多くの作家たちに影響を与えた芸術家、北川民次画伯の壁画が特徴（下写真）
- 多くの市民に愛され利用されてきたが、施設の老朽化や蔵書数の増加等による狭隘化などの問題が顕在化
- 令和11年の市政100周年を前に、魅力ある図書館へとリニューアルを行う



プロジェクトの目的

図書館リニューアルのコンセプト

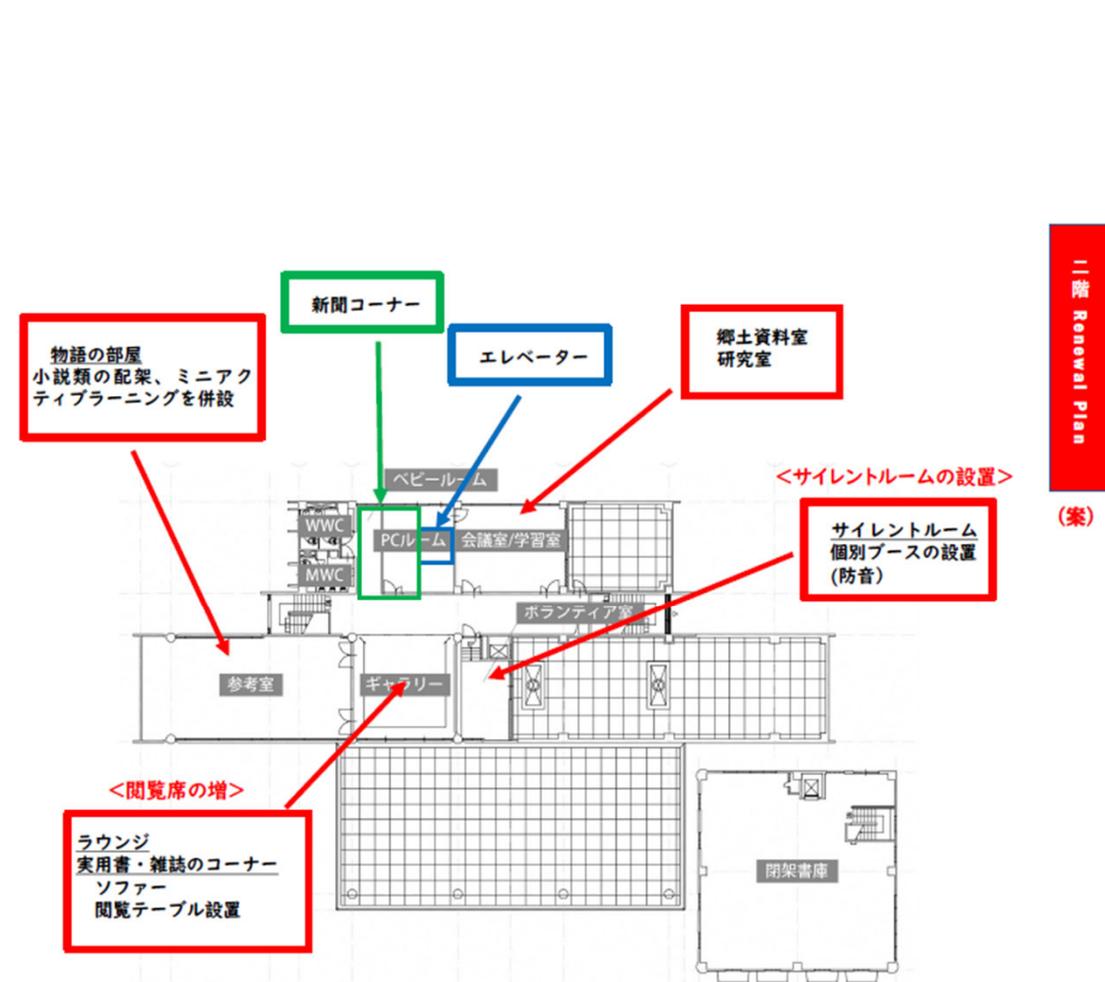
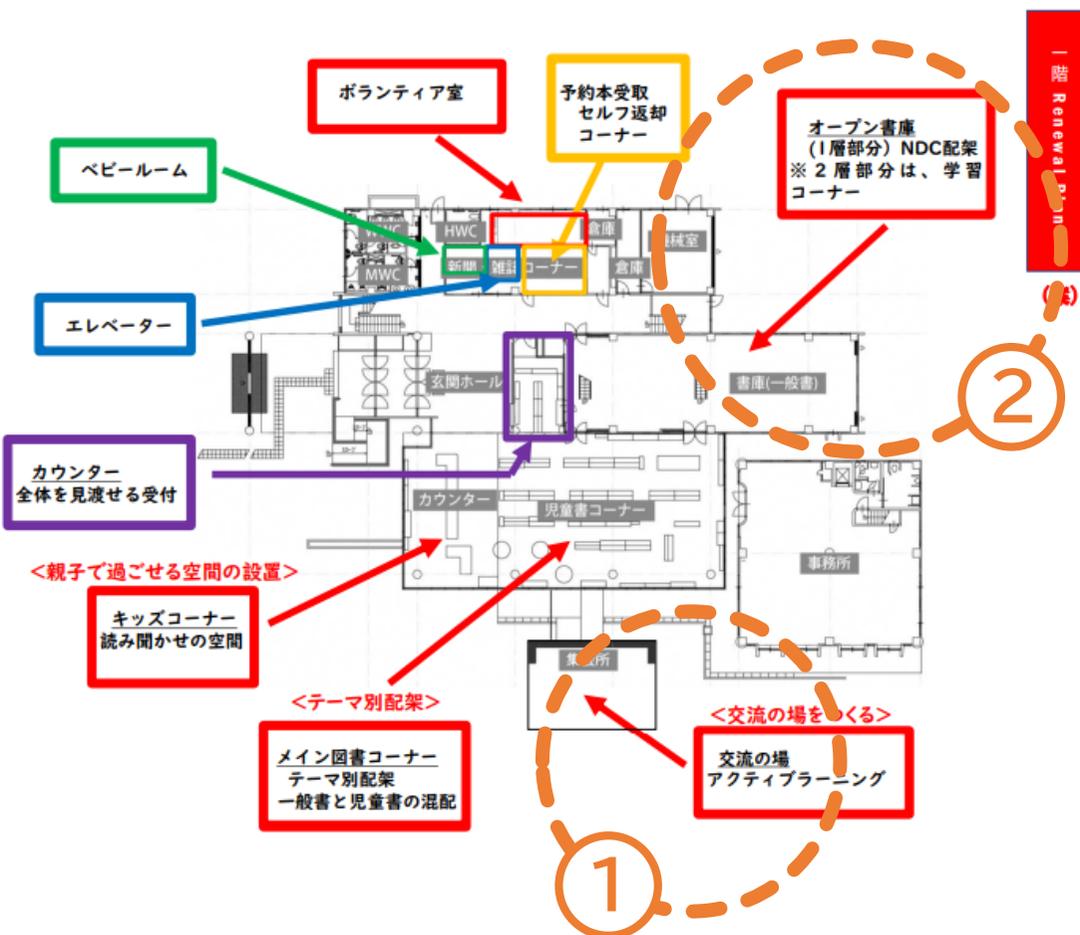
アップサイクル（つなぐ）



大人がゆっくり楽しめる。子どもも一緒に楽しめる。

- ① “本を探す図書館から本と出合う図書館へ” を実現する空間づくり
- ② サードプレイスとして魅力を感じる滞在交流型の知的空間の創出
- ③ 本（知）を介して、ひと・もの・ことが交流できるアクティビティ
- ④ わくわくする“にぎわい空間”と落ち着いた“読書空間”のバランス
- ⑤ 瀬戸市の未来を拓く人材が集まり、考えて、活動する場づくり

プロジェクトの内容



プロジェクトの内容

① アクティブラーニングができるスペースの整備

⇒グループワーク等を通じて、能動的に学び、考えることのできる環境をつくり、
未来を拓く人材を育む！



出典：コクヨ株式会社HP



②

座席予約システムの導入

⇒子どもたちが開館時間まで屋外で並んで待つ時間・環境をITを活用して改善！

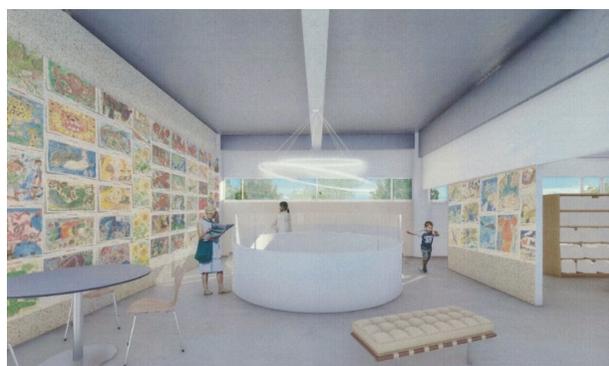
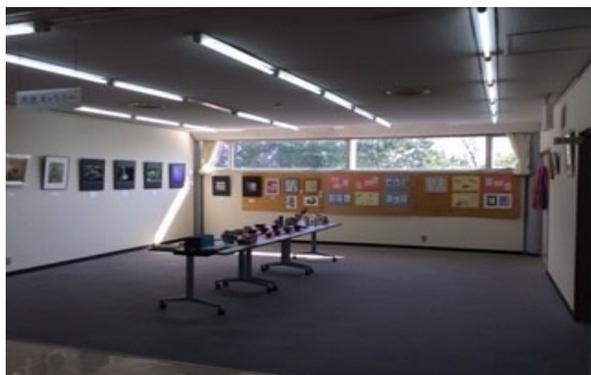


出典：株式会社タック・ポートパンフレット

プロジェクトの内容

リニューアルイメージ

エントランス
(現:玄関ホール)



リニューアルイメージ

ラウンジ
(現:ギャラリー)

玄関ホールの北川民次画伯の壁画はそのまま生かすほか、木製書架は化粧直しをしてデザイン性向上、廃材となったタイルで書架を繋ぐなど、**アップサイクル**の考えでリニューアル！

寄附するメリット等



① 企業名の公表等

→アクティブラーニングができるスペースにおいて寄附企業名一覧パネルの設置等により寄附企業様の紹介を検討しています。

② 市役所での寄附感謝状贈呈式の開催

→感謝状の贈呈・贈呈式を開催させていただきます。贈呈式には報道機関にも来ていただけるよう周知を図ります。

③ 市HP・広報等への記事掲載

→市HPや広報にて、寄附企業様の紹介をさせていただきます。

④ その他

→その他、寄附企業様のご相談に応じて、検討・実施させていただきます。



本市のまちづくりに対する
企業様の温かいご支援をお待ちしております。

【連絡先】

瀬戸市役所

経営戦略部 政策推進課

教育部 図書館

TEL : 0561-88-2521

TEL : 0561-82-2202

MAIL : keieichosei@city.seto.lg.jp

MAIL : toshokan@city.seto.lg.jp